

申込〆切日を延長
6/19(金)〆

【開催要領】 [<開催要領 URL>](#)

第1回 総合的病害虫・雑草管理研究会シンポジウム

主催 (一社)日本農薬学会 学術研究会「総合的病害虫・雑草管理研究会 (略称:IPM 研究会)」

【日時】 2026年6月26日(金) 10:00~17:00

【場所】 東京農業大学 世田谷キャンパス 榎本ホール(国際センター2階) [<世田谷キャンパスの案内>](#)

【開催方法】 ハイブリッド開催 (対面、オンライン)

【開催テーマと趣旨】

テーマ「作物保護のイノベーションを支える ~新たな IPM(総合的病害虫・雑草管理)のいろは~」

本研究会の目的は、既存の価値観にとらわれることなく、新たな視点で IPM の基礎から実践までの新情報を共有することです。その IPM の大前提は、「経済的な防除により、農業生産者が儲かる」こと、さらに「IPM の実践による品質の高い作物の安定生産」です。

一方、農業生産現場では、病害虫・雑草の管理や実防除を、一つの防除選択肢だけで対処することは困難です。この課題に対峙するにあたり、4つの手法、「耕種的」「化学的」「物理的」および「生物的」防除を用います。それぞれの長所を活かし短所を補完して調和させ、効率的でムダのない防除プログラムの組立てが得策です。

IPM は、これまでの理念・理想の時代から実践の時代に入りました。そして、本研究会では、IPM の根拠を成す考え方や、新たな視点に基づく基礎研究、そして IPM の実践的技術を共有する広場を設けます。その対象者として、行政、研究者、指導者から生産者に至るまで、さまざまな立場の関係者を幅広く考えています。

この視点で、本シンポジウムでは作物保護のイノベーションを支える IPM のいろは(基礎)を討論します。

【プログラム】

- | | | |
|-------------|------|---|
| 10:00~10:15 | 開会挨拶 | 與語 靖洋 ((一社)日本農薬学会 会長)
山本 敦司 (総合的病害虫・雑草管理研究会 委員長)
(本研究会設立の経緯と体制、シンポジウムテーマと講演の視点) |
| 10:15~10:50 | 講演1 | 総合防除(IPM)の推進及び現場での実践に求められるパラダイムシフト
藤井 達也 (農林水産省 消費・安全局 植物防疫課) |
| 10:50~11:35 | 講演2 | 実践的で経済的な IPM の基礎と化学的防除の役割
山本 敦司 (東京農業大学) |
| (昼食) | | |
| 12:35~13:20 | 講演3 | IPM の基盤となる耕種的防除
黒木 修一 (宮崎県総合農業試験場) |
| 13:20~14:05 | 講演4 | 生物的防除は何を担う技術か - 天敵比率と農業生態系の制御 -
森 光太郎 (石原産業株式会社) |
| (休憩) | | |
| 14:15~15:00 | 講演5 | 現場が儲かるIPMへ向けた発想転換 - 成功事例を添えて -
清水 健 (千葉県農林総合研究センター) |
| 15:00~15:45 | 講演6 | IPM 実証調査に基づく IPM の普及
草間 直人 ((一社)全国農業改良普及支援協会) |
| (休憩) | | |
| 15:55~16:55 | 総合討論 | 17:30~ 懇親会 |

【参加申込み】

参加費: 日本農薬学会会員 1,000 円(不課税)、日本農薬学会学生会員 500 円(不課税)
非会員・関連学会 1,650 円(10%対象 150 円)、非会員学生 1,100 円(10%対象 100 円)
報道関係 無料、懇親会費 4,400 円(10%対象 400 円)

申込み方法: 参加申込みの URL から、お申込み(対面、オンライン)と参加費のお支払いをしてください。

[<参加申込みURLはこちら>](#) (←日本農薬学会 総合的病害虫・雑草管理研究会の URL に記載)

・申込〆切: 2026年6月19日(金) (←延長しました) ・対面参加の定員は、120 名です。

講演要旨集: 開催日の約 7 日前(予定)から、参加申込者のマイページからダウンロードできます。

オンライン URL の配信: 開催日の約 7 日前(予定)

【問合せ: (一社)日本農薬学会 総合的病害虫・雑草管理研究会】

メール(シンポジウム事務局): ipmwig@pssj2.jp URL: <https://pssj2.jp/committee/ipm.html>

(委員長) 山本 敦司 (委員) 森 光太郎、河津 圭、清水 健